

あけましておめでとうございます。

インフルエンザをはじめとする飛沫・接触感染による感染症は、3密を避けること、マスクをすること、手指消毒をすることの3つの対策で防がれています。ところが、新型コロナウイルス感染症は拡大の一途です。このことから、新型コロナウイルス感染症は飛沫・接触感染だけではないことが分かります。一部の感染症の専門家は、ウィルス干渉のため、ひとつのウィルスが流行すると他のウィルスの流行が抑えられると言っています。確かにインフルエンザウィルスが流行するとノロウィルスが抑えられたり、その逆のこともありました。しかし、今回の新型コロナウイルス感染症は、まだ蔓延しているわけではありませぬので、ウィルス干渉は起こっていないと思います。現在の飛沫・接触感染対策がインフルエンザ等の流行を抑えていると考える方が自然です。新型コロナウイルス感染症は弱いながらも空気感染しているようです。寒い季節ですが、しっかりと換気をし密閉を避けることが特に重要です。



[最近目立つ病気]

今シーズンはインフルエンザの流行は全くみられていません。3密の成果だと思えます。インフルエンザワクチン接種の希望者も多く、12月初旬には当院のワクチンは終了しました。例年、ワクチン接種をしても罹患する人がみられますので、ワクチンの効果で流行が阻止されているとは思えません。

アデノウィルス感染症と溶連菌感染症は、ちらほらとみられています。2疾患ともに飛沫・接触感染ですのでこども園、学校での流行がみられます。特に乳幼児ではマスク着用が難しいので流行の阻止はできません。胃腸炎も年齢を問わず、家族内での発生がみられています。排泄後の手洗いとトイレ内の清潔が重要です。

[アデノウィルス感染症]

アデノウィルスとは、呼吸器、目、腸、泌尿器などに感染症を起こす原因ウィルスです。51の型に分類され、病気と関係が深いのは1～8型です。多くの型があるため、免疫がつきにくく、何回もかかることがあります。

どのような感染症を引き起こすの？

呼吸器感染症

アデノウィルスは、鼻炎、咽頭炎、扁桃炎などの上気道に炎症を起こします。気管支炎、肺炎などが起きる場合もあります。

咽頭結膜熱（プール熱）

子どもの間でプールを介して流行することが多い咽頭結膜熱は、プール熱とも呼ばれます。うがい、手洗い、プールの塩素消毒などで、ある程度予防できます。熱は39～40度の高熱が4～5日ほどつづきます。学校保健安全法上の学校感染症の一つであり、主要な症状がなくなった後、さらに2日間登校禁止となります。

流行性角結膜炎

年齢を問わず起こる目の病気で、充血し、目やにも出ます。咽頭結膜熱のような高熱は出ません。のどの赤みも強くありません。しかし非常に強い伝染力があります。流行性角結膜炎は学校保健安全法上の学校感染症の一つで、伝染の恐れがなくなるまで登校禁止となります。

胃腸炎

乳幼児期に多いのが特徴です。下痢、嘔吐、嘔気、発熱、腹痛といった、

ロタウィルスによる胃腸炎と似た症状が見られます。

出血性膀胱炎

排尿時に痛みがあり、真っ赤な尿が出ます。症状は2～3日で良くなり、血尿は10日程度で改善します。

アデノウィルスの予防・対策

基本は手洗い

流水と石けんを使った十分な手洗いが対策の中心です。手洗い後、アルコール手指消毒薬を使うことで、さらなる予防効果が期待できます。

タオルの使い分けと洗濯

タオルの共有は避けましょう。アデノウィルスは熱に弱いので、感染者が使ったタオルは、熱水で洗濯すれば消毒できます（目安は85℃で1分間以上）。熱水洗濯が難しい場合は、水洗いした後に次亜塩素酸ナトリウムを使って消毒する方法も有効です。次亜塩素酸ナトリウムは漂白作用があるので、色物・柄物を消毒する際にはご注意ください。

室内の消毒

アデノウィルスは環境で長期間生き残ることもあるため、ドアノブなど感染者が触れた場所は、消毒用エタノールなどで二度拭きましょう。

(<https://www.m-ipc.jp/what/adenovirus/>より抜粋、一部改変)



[新型コロナウイルスワクチン]

新型コロナウイルスのワクチンの接種はアメリカやイギリスなどではすでに始まっています。ファイザーがアメリカやブラジルなどで行った臨床試験ではワクチンによる予防効果は95%とされ、こうした結果を受けて12月2日に世界で初めてイギリスでワクチンが承認され8日から接種が始まったほか、アメリカでも緊急使用の許可が出され14日に接種が始まっています。

一方で、イギリスやアメリカで接種を受けた人のうち数人に激しいアレルギー反応「アナフィラキシー」のような症状が出たということで、アメリカのCDC（疾病対策センター）はワクチンに含まれる成分にアレル

ギー反応を示した経験がある人は接種しないことなどを指示しています。また、アメリカの製薬会社モデルナのワクチンも臨床試験で94.1%の有効性を示したということで、12月21日から接種が始まっています。

新しい「mRNA ワクチン」とは？

これらのワクチンはいずれも「mRNA ワクチン」と呼ばれるこれまでになかった全く新しいタイプのワクチンで、ウィルスそのものではなく、ウィルスの遺伝情報を伝達する物質「mRNA」を人工的に作って注射で投与します。

日本での接種はいつごろから？

ファイザーは日本国内でも12月18日に承認申請を行っていて、早ければ2月中にも承認されるかどうか結論が出る見通しです。厚生労働省は2021年2月下旬をめどに医療従事者、3月下旬をめどに高齢者への接種を始める体制を確保し、その後基礎疾患のある人などに優先して接種を行う方針です。

(NHK 特設サイト 新型コロナウイルスより抜粋)



☆西念の駅西福祉健康センター内の金沢広域急病センター（TEL:222-0099）では午後7時30分から11時まで、小児科と内科の診療を年中無休で行っています。加畑の担当は2/7の予定です。なお、1/11は当番医です。
☆金沢市では乳幼児の任意接種のワクチンについての助成金制度を行っています。詳細は受付でお尋ね下さい。

☆当院のHp (<https://kabata-cl.jp>) から順番待ちシステムにアクセスできます。ネット予約もできますので是非ご利用ください。

☆世界の宝「憲法9条」を次の世代に贈りましょう。

